

「パイプ役」となる広報紙を!!



広報委員長 竹内 節夫

輝かしい昭和五十五年の新春を迎え町民皆様のご多幸とご繁栄をお祈り申し上げます。

ひかり広報もお陰様で順調な運営と充実した内容を念頭に、発刊部数も一五八号を数え皆様のもとにお届けいたしてまいりました。

昨年の特記事項も種々ございますが、その幾つかを反省をかねて報告してみたいと存じます。新しい年度には、馬場町長の施政方針、予算の重点施策、これに伴うきめ細かな編成、更らには決算報告、町民の要望に応えてどのように町長がつかわれたか決算状況について一四六号には、図解で説明いたしました。

福祉の充実、教育環境の整備産業の振興、農工一体の実を挙げるため公害のない工場の誘致道路の整備、長期計画を樹て、農道を含めた舗装等その都度ご

報告申し上げてまいりました。その他町内の行事もでき得る限りの確な取材に専念しております。第十八回町内軟式野球大会が五十三チームの参加により熱戦された経過、町民体育館の竣工に伴う町民バレーボール大会、給食センターの落成と相伴

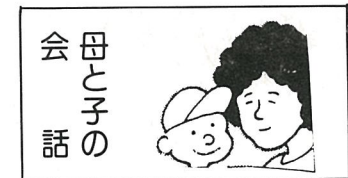
つて完全米飯給食の実施、町の諸行事等できる限り内容を整え掲載してまいりました。

私達広報にたずさわる職員が一致協力し、町と皆さんを結びパイプ役となる広報紙を目ざして努力する所存でございますが、皆様からのご意見、ご批判がございましたら遠慮なくお寄せいただきたいと思います。

今後共皆様のご協力をお願い申し上げます。

【子供と読書】

本を好きに読むべし



母と子の会話

子供の頃に、本を読む習慣をつけておくことは、これからの人生に大きなプラスになるの

でしょう。読書の習慣を身につけさせるには、まず、本を読むことの楽しさを味わわせることが第一です。

そのためには、子供が興味を持ち、読みたがっている本から与えてゆくのがよいでしょう。

子供自身が、読んだあと満足感を味わえる本を選ぶ——これが本に親しませる第一歩です。お母さんとしては、もっとよ

い本を、などとお考えになる場合もあるでしょうが、子供自身の興味を無視して、一方的に親の意向を強要すると、かえって本ざらいになってしまうこともありますので、気をつけたいものです。

子供の読書の特徴は、おとなの場合とちがって、本の主人公に容易に同化することです。主人公は、必ずしも人間に限らず動物や人形、空想上の生き物などさまざまです。それらの主人公の喜びや悲しみは、そのまま子供の心の中にいきづき、読書の楽しさを知っていくようになります。

慶 弔

十二月十五日現在受付(敬称略)

◎お誕生

- 尾垂 仲村 真悟 英俊 長男
- 篠本 大木 一久 太一 長男
- 辻 鈴木 美和 基之 長女
- 辻 山本 恵 茂 二女
- 橋場 中沢久美子 涉 二女

◎ご結婚

- 小田部大木 重利—薄田とし子
- 小田部伊東 弘司—伊藤知恵子
- 木戸 門脇道比古—伊藤 照代
- 篠本 大木 康裕—鈴木まり子
- 原方 浅野利三郎—鶴沢 信子
- 原方 鈴木 正紀—浮田 正子
- 母子 越川 和—伊藤のり子
- 新井 鈴木 清—鈴木すみ子
- 入 鈴木 進—林 美智子

読んだあとで、お母さんが感想を聞いてあげると、子供は、自分の考え方や意見を話す機会ができて、読書の喜びが一層深いものになるでしょう。こうした親子のコミュニケーションを通して、お母さんは次に与える本の選択を考えると、子供に、子供の読書を上手にリードしていくように心がけたいものです。

- 宮内 山崎 敏男—藤代 君代
- 小田部山崎 義貞—松川 正子
- 橋場 椎名 幹生—鈴木 君江
- 篠原 竹内 月夫—齊藤 春江
- 小田部霞 秋男—霞 政子
- 関 菱木 賢樹—安藤美智江
- 五ノ神佐藤 孝難—鈴木美代子

◎おくやみ

- 長塚 伊沢 富子 65才
- 白磯 住吉 茂 65才
- 橋場 向後 浩嗣 46才
- 橋場 早野 とし 61才
- 入 行木 金藏 75才
- 白磯 坂田カツエ 61才
- 小田部 大柳 とし 70才
- 宝米 土屋 みよ 64才
- 篠本 郡司 はな 84才

町の状況

〈12月1日現在〉

人口	男	5,790人	(+2)
	女	5,923人	(-2)
	計	11,713人	(+0)
世帯数		2,836戸	(-3)

()内は前月比